



JAC Tochigi

発行元 日本山岳会栃木支部 発行元住所 〒321-1262 栃木県日光市平ヶ崎 176-4 渡邊雄二方

2009 年

4 月号【第 2 号】

2009 (平成 21) 年 4 月 1 日発行

栃木支部報

目次

- p 1. — 「山の日」制定に向けて
進もう！！
- p 2.-8. — 2008 年度の活動の足跡
- p 8.-9. — 総会・懇親会の記録

- p 9. — 支部会員名簿
- p 10. — 「山の日」に関連して
事務局より、あとがき

2号

「山の日」制定にむけて進もう！！

昨年(2008 年)9 月 7 日付『下野新聞』第 1 面に、同紙客員論説委員をされている作曲家船村徹氏の『「山の日」をつくろう』という提言が掲載された。長くなるが、その全文を示したい。

「海の日」という祝日がある。1996 年に制定された国民の祝日のひとつである。

現在 7 月の第 3 月曜日となっていて、世界唯一、わが国にだけ存在する祝日である。

海をテーマにした作品を数多く作ってきた私も心から納得して、設立には微力ながら協力したおぼえがある。ぐると海にかこまれた海国日本なのだから、われわれが海の恩恵にあずかって生きているのもあたりまえだ。

しかし、まてよ、考えれば考えるほど、なんかへんな気がしてならないのである。「海があんのに山がねえー」べつに海なし県の栃木で生まれ育った男の偏見などではなく、自然界の大摂理として、太古から信仰的にも実生活的にも人類にとっては「山海一体」なのであった。

山に降った雨や雪は、森にしみ出して林を流れ下り村や里をうるおして大河となって、やがて広大な海洋へとたどり着くのだ。とどのつまりが山と海とは、親友でもあり、男と女、夫婦以上に深い仲でもあるのだ。山が栄えれば海がよろこび魚は肥える。深山幽谷をほとばしる水源は神秘の栄養にみちて、プランクトンやミネラルなどを運んで、渓谷や湖沼の淡水魚や里の農産物にも幸せを授けながら大海に入っていく。

やっぱり「山」はすごいのだ。「山」が痛んじやいけない。近ごろの燃料の高騰が海上労働にたずさわる諸氏にとっては、たしかに楽ではないが、海に

魚介類がいなくなったら、全国的にいちころでヘコタレっちまうだろう。

幼かったころのふる里の川には、天然ものの溪魚はピチピチとむれ跳ねていて、学校帰りに川へ入ってヤマメでもイワナでもカザカでも、手づかみでバケツ一杯とれたもんだった。

秋になると裏の山々には渡り鳥たちが飛んでくる。あ的那須岳の奥のあたりに、おれの初恋のひとが住んでいるんだなどと空想して、渡り鳥にたのんでみよう一葉に書いた愛の手紙を…そんな少年の恋物語を友人たちと語りながら歩いた山の小径も、なぜか美しかった。

山国で育った私は、中禅寺湖しか知らなかったから、上京して音楽大学に入ると横浜港へ海を見に出かけた。あのあたりはアメリカ占領軍の管理がやかましくて、「犬と日本人はいるべからず」なんて書いたカンバンがフェンスにぶら下がっていたが、かまうもんかともぐり込んで波止場の水をなめてみた。やっぱり塩っぱかったのを今でもおぼえている。

最近、海を豊かに守るためには、「山」を大切にしなければならないと、植林活動にいそしむ漁協も多いと聞く。いい事である。

今こそ日本国民が心をひとつにまとめて、「山の日」をつくり、国民の祝日とさだめ、おおいに、「山海の友情」を厚くしようではないかと思っている。

JACでも取り組みを始め、本支部にも「山の日」担当ができた。会員ともども制定に向けての歩みだしをしていきたいものがある。

※なお、関連資料を後の 10 ページに掲載しましたのでご覧になって下さい。

2008 年度の活動の足跡

講演と春山登山

日 時：2008 年 4 月 12 日(土)～13 日(日)
場 所：那須岳周辺、大丸温泉『ニュー大高』
参加者：会員 13 名
行動概要
4/12(土) ○A 班：坂口、北見、桑野、渡邊、麦倉
「友愛の森」8:00、峠の茶屋 P…峰の茶屋コースをスキー登山 9:00～12:00
○B 班：日下田、上田、長、前田
JR 黒磯駅集合 14:00、車に分乗して宿舎へ
○C 班：中村、関根、菱田、稲葉
直接宿舎に集合
16:00～17:10 講演「那須周辺の最近の山岳遭難事故について」、講師：大高登氏
18:30～懇親会 宿泊者 11 名
4/13(日)：6:45 朝食、7:30 出発、車に分乗、ロープウェイ駅…峠の茶屋 P…峰の茶屋…茶臼岳山頂、帰路は往路と同じ、宿舎着 11:15、休憩・入浴、13:00 宿舎発、14:00 JR 黒磯駅にて解散

○A 班は「友愛の森」に集合、車を北温泉に回送し、大高さんに立ち寄り、大高登さんから予定コースの中大倉尾根の様子を伺い、車で峠の茶屋 P へ。茶臼岳・朝日岳の稜線はガスっており強風の模様。風は強いものの稜線付近以外は雲がないので、登山者も結構いた。典型的な冬型の天気だ。とりあえず目標コースに向けてスキーで登り始める。中の茶屋で雪が消え、スキーを背負っての登高となる。スキーが強風にあおられ、体勢を崩しながらもどうにか峰の茶屋に到着。この先稜線を進むのは困難と判断し、明礬沢を滑降することにする。途中に堰堤があるため、時折スキーをぬいて通過した。峠の茶屋付近の高度まで滑り、シールをつけて再び夏道に戻り、稲荷沢を途中まで登って、そこからスキー滑降で P へ戻った。その後は宿舎の「ニュー大高」に早めに入り、休憩。温泉に入ったり、ふきのとうを採ったりして全員集合を待つ。B 班は黒磯駅に集合し、前田委員の車で宿舎へ。C 班は各自、集合時間までに宿舎に到着。



4 / 12 (土) の A 班の面々
誰だかわかるかな？

○16:00 より、宿のご主人で、那須山岳救助隊長を務めておられる大高登氏から「那須周辺の最近の山岳遭難事故について」というテーマでお話をいただいた。那須温泉が開業したときの苦労話、救助隊を組織した背景・活動・苦労話、最近の遭難事故例、さらには皇族をご案内した時のエピソード等、大変興味深い話で、時間が過ぎるのも忘れるほどであった。また機会があれば是非お話を伺いたいと思う。

「ニュー大高」食堂での大高登氏の講話風景
興味の尽きない話に耳を傾ける！！



○翌13日(日)は午後から崩れるとの予報であったが、それに反して那須岳は朝から雲に覆われていた。従って早めの出発・早めの下山にしくはなしということで、7:30 には宿を出た。峠の茶屋付近は昨日とは比較にならないほど穏やかである。全員徒歩で茶臼岳山頂を目指す。さすがに峰の茶屋付近は風があるが、いつものことである。ガスの中を夏道通しで山頂へ。9:45 着。全員揃って記念写真を撮り、往路をそのまま下山した。11:15 には宿に戻り、温泉で疲れを癒し、おにぎりのお弁当を食べ、解散となった。

4/13(日)茶臼岳山頂におけるメンバーの勇姿



第1回役員会

日 時：2008年5月18日(日)17:00～
場 所：宇都宮市『とちぎ青少年センター』
参加者：役員10名中5名

- 総会に先立って、16:00より平成19年度決算に関する監査が行なわれた。
- 支部総会・会報・ホームページ等に関して協議した。さらに、①4月の講演と春山登山、②支部通信発行(No.5)、③新会員【柏村祐司(14509)、桑野正光(14510)】、並びに入会手続き中の4名の紹介、④本部関係【支部長会議、第1回通常総会】等の報告があった。

総会、並びに懇親会

日 時：2008年5月24日(土)16:00～
場 所：宇都宮市『コンセーレ』
参加者：栃木支部会員24名(うち、入会
手続き中2名)

- (財)栃木県青年会館理事長横山陽一氏を来賓に迎え、会員22名と入会手続き中の2名が出席して、2008(平成20)年度通常総会が開催された。
- 総会は石澤委員の進行で始まり、日下田支部長が開会の挨拶をされた。「栃木支部報第1号にも書いたが、支部が設立されて1年が経過した。お蔭様で充実した活動を行なっている。先週の日本山岳会の総会では、今後の組織のあり方として、各支部の活性化こそがキーワードであり、日本山岳会において各支部の占めるウェイトは重要である、という提言もあった。」
- 続いて来賓の横山理事長から「今後も栃木支部と協働して事業を推進していきたい。栃木県青年会館としては、県内の青少年の育成を目的とした公益法人として、子供からシルバー世代までを対象にした事業を進めていきたい」との挨拶があった。
- 続いて議長に前田委員を選出、議事に入る。平成19年度事業報告(渡邊事務局長)・同会計報告(石澤委員)及び監査報告(坂口監事)・平成20年度事業計画案(渡邊事務局長)・同予算案(石澤委員)が提案され、全議案ともに全会一致で承認された。その後、総会出席者から番号順に一人一言の近況報告が行なわれ、総会は無事終了した。
- 17:00より、同じ会場にて懇親会となる。手際よく片付けられて宴席が用意された。会員21名の参加あり、山の情報交換・今後の事業予定などを話題に、終始なごやかに歓談が続いた。
- 詳細については、後述する総会記事を参されたい。



5/24(土)通常総会で挨拶される日下田支部長



5/24(土)通常総会の会場風景

日光山系清掃登山(岳連との共催)

日 時：2008年7月5日(土)、6日(日)
場 所：日光湯元キャンプ村、白根山(2578m)他
参加者：8名(会員以外も含めると総勢200名)
行動概要：7/5(土)18:00～前夜祭
7/6(日)7:00～清掃活動

- 栃木県山岳連盟の行事であるが、本支部も共催として参加。前夜祭には6名の会員が参加し、会費1000円で交流会で楽しい時を過ごした。翌日は、本支部会員は白根山を中心に清掃活動を行った。
- 総勢200名の参加者があり、白根山の他、男体山・太郎山・女峰山・社山・戦場が原等で各団体毎に活動した。一時よりゴミは激減したが、観光地に近い登山道や国道の側溝等にゴミが目立った。登山者よりも観光客のマナーに問題があるようだ。



7/6(日)清掃活動に参加した本支部会員

第2回役員会

日 時：2008年7月6日(日)17:00～
場 所：宇都宮市『コンセーレ』
参加者：役員10名中6名

- 同日実施の清掃登山後、『コンセーレ』において役員会を行なった。特に「第1回山岳映画のタベ」と夏山登山の運営について協議した。
- さらに①支部総会・懇親会、②支部通信発行(No.6)、③会費納入状況、④新会員【5月入会：猿山浩(14518)、稲葉昌弘(14527)、麦倉常治(14529)、6月入会：後藤尚(14536)】4名の紹介、現会員数は43名、④清掃登山、⑤本部関係【全国支部懇談会の案内】等の報告があった。

第1回山岳映画のタベ (本支部とコンセーレとの共催事業)

日 時：2008年7月12日(土)16:00～18:00
場 所：宇都宮市『コンセーレ』
映 画：「エベレスト征服」(88分)
「THE EPIC OF EVEREST」1924(17分)
講 演：羽田栄治氏(日本山岳会資料映像委員長)
「フィルム・アーカイヴスについて—映像の持つ記録性」
参加者：支部会員16名を含めて、コンセーレ学習
セミナー会員、一般の方等65名が参加

- 本支部の公益事業として、会場となったコンセーレとの共催で開催した。
- 日下田支部長、横山青年会館理事長の挨拶後、1953年のエベレスト初登頂の記録映画を鑑賞した。初登頂者であるヒラリー卿(2008年1月11日逝去、日本山岳会名誉会員)の若々しい姿が印象的であり、感動あふれる映画であった。当時の記録映画の技術にあらためて驚かされた。詳しくは本部会報「山」5月号を参照されたい。その後、羽田氏によるアーカイヴスについての講演を拝聴し、映像の持つ記録的価値を再認識した。さらに貴重なフィルムである「THE EPIC OF EVEREST」1924を同氏の解説により鑑賞した。マロリーとアーヴィンの当時の登山の様子を映像で見ることができて、視聴者一同感激ひとしおであった。
- 映画・講演の終了後、コンセーレ内タイムズスクエアにて、講師の羽田氏を囲んで懇親会を開催した。本支部会員・セミナー会員・岳友の方も交えて楽しく歓談した。(参加者は総勢23名)

羽田栄治氏略歴

1927年東京に生まれる。50年代半ばよりニュース映画の報道カメラマンとして活動。東京オリンピック、札幌冬季オリンピックの記録映画の撮影スタッフとして参加したのをはじめ、約35年にわたり政治・経済・社会・スポーツなどの取材活動に携わる。また学生時代には中央大学山岳部に属しており、山岳や自然の取材も多く、ネパール・ヒマラヤはもとより、山岳映像の作品を多数撮影している。07年9月には傘寿(80歳)を迎えたが、今も現役で活躍中。写真展・出版・執筆等多数。日本山岳写真協会副会長、日本山岳会資料映像委員長。



羽田栄治氏の講演の様子



映画会には多くの方が参加された



懇親会で話される羽田栄治氏

※参考までに——

2008年8月16日(土)17:00から予定されていた第3回役員会は、格別の議題がないために中止された。

夏山山行・懇親会

日 時：2008 年 8 月 30 日(土)～31 日(日)

場 所：奥鬼怒温泉郷、加仁湯、根名草山、鬼怒沼

参加者：会員 17 名

行動概要：

8/30(土)：○Aコース：坂口、山本、長、北見、渡邊、猿山、麦倉の 7 名

金精峠 P8:15…金精神社…念仏平小屋 …根名草山…加仁湯 15:10

○Bコース：日下田、山野井、森、井上、前田(洋)、石澤、乾、中村、関根、横山の 10 名

女夫淵温泉 P13:50…加仁湯 15:20

18:00～ 懇親会

8/31(日)：宿 8:00…巡視小屋前…宿 14:50、入浴その後宿のマイクロバスで女夫淵 P、同所にて解散 16:00

○8/30(土)：Aコース【金精峠から根名草山を経て加仁湯】の 7 名は、6:50 日光駅に集合。麦倉会員の車に全員が乗り、金精トンネル駐車場へ。天気は生憎小雨模様、カッパを着て 8:15 出発。峠へ登り金精様を参拝した(8:53)。この頃には小雨もあがる。念仏平小屋で昼食をとる(10:55-11:25)。上空には晴れ間ものぞく。根名草山頂上で記念撮影(12:35)。あとは加仁湯に向かってひたすら下るだけ。予定通りに 15:10 に加仁湯着。10 分後に B コースのメンバーも到着、その後秘湯で登山の疲れを癒した。



根名草山頂(2329.7m)にて

○8/30(土)：Bコース【女夫淵温泉よりハイキングで加仁湯】の 10 名は、鬼怒川温泉駅に 12:00 集合。会員の車に 10 名が分乗し、女夫淵温泉駐車場へ(13:30-50)。足の調子の悪い 2 人は宿の迎えのバスで宿舎へ。他のメンバーは鬼怒川源流のせせらぎを楽しみながら、八丁の湯を経由して加仁湯に到着(15:20)し、根名草班と合流した。



加仁湯の玄関前にて全員で記念撮影

○18:00 より大広間で懇親会を実施、風呂上がりのリラックスムードも手伝って、美味しい料理とお酒に舌鼓を打ちながら、山談義に花が咲いたことであつた。さらに場所を変えての二次会にまで至った。

○8/31(日)：昨夜の盛り上がった宴会の勢いで、全員で鬼怒沼を目指す。朝食後、8:00 に出発。天気は上々、時折晴れ間も見える。山は好天、里は雨模様のような。鬼怒沼湿原は木道の工事中なので、巡視小屋前の広場で昼食(11:50-12:20)。白根山・燧岳などの展望を楽しみ往路をそのまま下山。宿着(14:50)。入浴して汗を流した後、宿のマイクロバスで女夫淵の駐車場へ。無事 16:00 に解散した。



鬼怒沼の木道にて。オールスター勢揃い！！

○今年度(平成 21 年度)の夏山懇親会は、8 月 29 日(土)～30 日(日)、今年度と同じく「加仁湯」を会場に行う予定なので、是非予定に入れて下さい。

那須岳クリーンキャンペーン (栃木県山岳連盟との共催)

日 時：2008 年 9 月 6 日(土)、7 日(日)
場 所：那須岳登山事務所、那須岳周辺
参加者：坂口、小島、仙石会員らが参加

○栃木県山岳連盟の行事であるが、本支部も共催として参加、上記の会員らが清掃活動にあたった。

秋山山行

日 時：2008 年 10 月 25 日(土)
場 所：会津 台倉高山(2067m)
参加者：森、小島、坂口、前田、石澤、上田、
中村、関根、北見会員 総勢 9 名
行動概要
「道の駅田島」7:20＝会津高原駅 7:35、50 発＝
馬坂峠 9:10、30 発…台倉高山 12:00…馬坂峠
14:30、50 発＝「燧の湯」15:30

○乗用車組 8 名が「道の駅田島」に 7:20 集合。昨日からの雨も上がり、素晴らしい天気になる。3 台の車に分乗し会津高原駅へ。7:35 着。上田嬢の到着後 7:50 出発。檜枝岐周辺の素晴らしい紅葉を眺めながら一路馬坂峠に向かう。檜枝岐から林道に入る。未舗装の道を 30 分近く走り馬坂峠着 9:10。すでに栃木ナンバー車が 5 台、バイクが 2 台駐車してある。峠付近の紅葉はすでに終わっていた。出発準備後、坂口監事に挨拶をいただき、9:30 出発。シラビソ林の中の道は最近整備されたものの雨上がりでもあり、ぬかるんでいて眺望も利かない。一時間ほど歩くと三段田代の小さな池塘に着く。途中で百名山クラブの人たちに出会う。台倉高山 12:00 着。会津駒ヶ岳はガスで見えなかったがそれ以外は薄日が差す中、日光の山々から尾瀬へと 360 度の展望を楽しむ。昼食をとり、記念写真をとった後、12:45 下山開始。同じ道に戻り 14:30 駐車場着。着替えなどして駐車場発 14:50。唐松の紅葉を楽しみつつ『燧の湯』着 15:30。錦秋の山を眺めながら露天風呂で汗を流した。

馬坂峠の駐車場にて



台倉高山山頂(2067m)にて記念撮影

第3回役員会

日 時：2008 年 11 月 16 日(日)13:30～
場 所：宇都宮市『コンセーレ』
参加者：役員 10 名中 名

○秋季講演会の直前打合せを行なうとともに、今後の行事予定等について話し合った。

第2回秋季講演会

(本支部とコンセーレとの共催事業)

日 時：2008 年 11 月 16 日(日)15:00～17:00
場 所：宇都宮市『コンセーレ』
参加者：本支部会員 16 名と一般 44 名、計 60 名
講 師：星埜由氏(元国土地理院長、JAC 茨城支部長)
演 題：「伊能忠敬に始まる科学的地図」

- 本支部の公益事業として、会場となったコンセーレとの共催で開催した。
- 日本の地図の歴史について、日本書紀の時代から言及され、奈良時代の「行基図」・桃山時代の「日本地図屏風」・江戸時代の石川流宣による「大日本国絵図」などの資料を映像で示して頂き、日本で最初に伊能忠敬の測量によって完成された科学的地図「大日本沿海輿地全図」ができるまでの経緯を詳細にお話し頂いた。伊能測量のルート、測量手法、伊能図の文化的価値等について大変興味深い話を伺うことができた。聴講者からはシーボルト事件の真相についての質問等も出され、盛況のうちに有意義な勉強会ができた。ご多忙のところ、宇都宮までお出かけ頂き星埜氏に感謝です。
- 講演会終了後、コンセーレのバンケットホールにて、講師の星埜氏を囲み懇親会を開催した。本支部会員、コンセーレ関係者を交え、国土地理院の地図の話はもちろんのこと、映画「点の記」にちなんで最近登った剣岳登山の話や茨城支部の活動についての話題で、楽しいひと時を過ごした。(17名参加)



秋季講演会
講師の星埜由氏



秋季講演会
司会の山野井副支部長

第4回役員会

日時：2009年1月24日(土)14:00～
場所：日光市交流促進センター
参加者：役員10名中 名

- 新年会に先立ち、役員会を開催。平成20(2008)年度の事業・会計の中間報告があり、平成21(2009)年度の事業・予算案を検討した。

新年会・冬山山行(日光)

日時：2009年1月24日(土)～25日(日)
場所：日光市交流促進センター、雲竜渓谷
参加者：日下田、山野井、森、沖、井上、坂口、石澤
前田(文)、渡邊、上田、梶谷、猿山、稲葉
麦倉の14名
(会員外)沖道子、前田健、早川和子の3名
(講演会のみ参加者)日光市山岳連盟から3名
行動概要
1/24(土)：開会行事 15:00、講演会 15:30-17:00
新年会 18:00-
1/25(日)：朝食後、雲竜渓谷へハイク
山内の滝尾神社にて解散

- 1/24(土) 日光市交流促進センターに集合。開会にあたり、日下田支部長より森元一会員が過日の晩餐会式典において、永年会員に推挙されたことに対するお祝いの言葉があった。
- 続いて沖会員より2008年6-7月、インドヒマラヤ・ザンスカール登山隊の報告があった。当初目指したのは、インド・カシミール州パンゴン山脈のマリ峰(6587m)であったが、中国との国境問題がからんで、

雲竜渓谷の水壁で遊ぶ



- 国防上の理由で登山許可がおりず、当初目標とした山域に入ることができなかった。そこでザンスカールのZ3(6270m)に変更して登山活動が続けたが、登頂はならなかった。しかし、付近の無名峰(5800m)に登頂して帰国したそうだ。しかし大変興味深い話が聞けた。また、沖会員の同山域の研究にも素晴らしいものがあつた。今後とも活躍を期待したい。
- 午後6時より食堂にて夕食を兼ねた懇親会を実施。施設の決まりで1時間しか食堂が使えないので、続きは研修室へ移動して、消灯時間の10時まで大いに盛り上がった。
- 1/25(日) 朝食後、車で山内の滝尾神社に移動。四輪駆動車に分乗して、稲荷川林道に行く。8:30早川谷入り口から入渓、暖冬と数日前の降雨で谷筋の積雪も例年より極端に少ない。友知らずからのゴルジェの氷の発達も極端に小さく、迫力に欠ける。雲竜瀑下で梶谷会員らのアイスクライミングを眺めながら昼食(11:00-11:30)。無風快晴、春のような陽気の中での一日を過ごした。往路を滝尾神社へ戻り、解散となった。



冬とは思えないような
とてもいい天気でした

三支部合同懇談会

日 時：2009 年 2 月 7 日(土)～8 日(日)
場 所：千葉県南房総市 民宿『治郎吉』
参加者：本支部から日下田、山野井、森、沖夫
妻、井上、牛窪、臼田、乾、渡邊、神島の 11 名、
本部から神崎副会長、千葉支部 28 名、茨城
支部 8 名の合計 48 名

行動概要

2/7(土)：16:00 から各支部長挨拶、その後情
報交換。近くの温泉で入浴。18:30 より夕
食・懇親会

2/8(日)：三つの班に分かれて行動

○2/7(土) 昨年の第 1 回合同懇談会は日光で開催
されたが、今年は千葉支部が担当で、内房岩井に
ある民宿『治郎吉』で開催された。宿を出て二分
とかからずに海岸に出るという立地のよさで、翌
朝には潮の香をたっぷり含んだ海風にあたりなが
ら、はるか対岸の三浦半島を見やることができた。
18:30 からの夕食・懇親会には太平洋の美味しい魚
介類(アワビ・サザエ・ハマチ・イナダ等)をふん
だんにいただいた。

○2/8(日) 朝食後、富山登山班・鋸山登山班・鋸山
ロープウェイ班に分かれて行動した。さすがに房
総は暖かくて、吹く風も肌に優しい感じがした。

○来年は茨城支部が担当で、2 月の第 1 土日に開催
される予定である。



挨拶される日下田支部長



大仏前で記念撮影
(鋸山にある日本寺の薬師如来)

平成 20(2008)年度 総会・懇親会の記録

日時：2008(平成 20)年 5 月 24 日(日)

総 会 16:00～

懇親会 17:00～

場所：コンセーレ【(財) 栃木県青年会館】

◇◇総会次第◇◇

進行：石澤 好文

- ① 開会の言葉 山野井 武夫
- ② 支部長挨拶 日下田 實
- ③ 来賓祝辞 (財) 栃木県青年会館理事長
横山 陽一様
- ④ 議長選出 議長：前田 文彦
- ⑤ 議事
 - (1) 平成 19 年度事業報告について 渡邊 雄二
 - (2) 平成 19 年度決算報告について 石澤 好文
 - (3) 監査報告 坂口 三郎
 - (4) 平成 20 年度事業計画(案)について 渡邊雄二
 - (5) 平成 20 年度予算(案)について 石澤 好文
 - (6) その他
- ⑥ 出席者自己紹介
- ⑦ 閉会の言葉 小島 守夫

◇◇懇親会次第◇◇

進行：神島 仁誓

- ① 開会の言葉 山本 武志
- ② 支部長挨拶 副支部長 山野井武夫
- ③ 乾 杯 坂口 三郎
- ④ 懇 親 (会員によるスピーチ)
- ⑤ 閉会の言葉 渡邊 雄二

※なお議事については、全て原案通り
承認されました。

栃木支部役員

◇◇栃木支部役員◇◇

支 部 長	日下田 實(4146)
副支部長	山野井 武夫(4633)
委 員	小島 守夫(6189)
	渡邊 雄二(7914)(事務局長)
	前田 文彦(8432)
	石沢 好文(9265)(会 計)
	山本 武志(9350)
	神島 仁誓(14438)
会計監事	沖 允人(5346)
	坂口 三郎(7973)

平成 20 年度事業計画

1	栃木支部報第 1 号発行	H20・04・01
2	春山登山と講演会	H20・04・12～13
3	平成 20 年度総会	H20・05・24
4	日光山系清掃登山	H20・07・06
5	第 1 回山岳映画の夕べ	H20・07・12
6	夏山山行・懇親会	H20・08・30～31
7	那須岳クリーンキャンペーン	H20・09・07
8	ヒマラヤの集い(シェルパを囲んで)	H20・10・?
9	秋山山行	H20・10・?
10	第 2 回秋季講演会	H20・11・?
11	新年会・冬山山行	H21・01・?
12	三支部合同懇談会	H21・02・07～08

平成 20 年度予算

I 収 入 260,000円

(内訳)支部会費	80,000 円 (@2,000 円×40 人)
助 成 金	87,500 円 (@2,500 円×35 人)
繰 越 金	91,085 円
雑 収 入	1,415 円

II 支 出 260,000円

(内訳)通 信 費	40,000 円 (総会, 支部通信の郵送費等)
事 業 費	100,000 円 (講演会・支部だより等)
会 議 費	40,000 円 (総会, 集会の会場費等)
消耗品費	50,000 円 (事務用品等)
予 備 費	30,000 円

III 残 額

0円

支部会員名簿

【2009(平成 21)年 3 月 31 日現在】

No.	会員番号	氏 名	備 考
1	4146	日下田 實	支部長
2	4255	堀越 利男	
3	4633	山野井 武夫	副支部長
4	4661	森 元一	
5	5201	松井 芳隆	
6	5346	沖 允人	監事
7	5394	田崎 伸一	
8	6189	小島 守夫	委員
9	6322	小材 守志	
10	6956	井上 孝郎	
11	7075	平野 昭夫	
12	7386	柳澤 隼人	
13	7914	渡邊 雄二	事務局長
14	7973	坂口 三郎	監事
15	8383	前田 洋子	
16	8386	牛窪 光政	
17	8432	前田 文彦	委員
18	9265	石沢 好文	委員
19	9267	臼田 徳雄	
20	9307	佐藤 清衛	
21	9350	山本 武志	委員
22	9921	乾 能尚	
23	10416	上田 景子	
24	10459	仙石 富英	
25	10885	蓮實 淳夫	自然保護
26	10909	中村 靖弘	
27	11381	関根 和男	
28	11402	渡辺 剛	
29	12503	菱田 克彦	
30	13906	吉田 春彦	
31	14400	梶谷 博	
32	14419	斎藤 隆	
33	14438	神島 仁誓	委員
34	8282	上野川 孝一	
35	12466	長 百合子	
36	14475	北見 正光	
37	14483	東 和之	自然保護
38	14509	柏村 祐司	
39	14510	桑野 正光	
40	14518	猿山 浩	「山の日」
41	14527	稲葉 昌弘	
42	14529	麦倉 常治	「山の日」
43	14536	後藤 尚	「山の日」

「山の日」に関連して

○自治体のなかには、すでに「山の日」、あるいはそれに類する日を設けて活動を行なっているところもある。その主なものをあげてみよう。

①山形県

「やまがた 森の日」……6月の第1土曜日

②山梨県

やまなし「山の日」……8月8日

③岐阜県

「ぎふ山の日」……8月8日

④滋賀県

「びわ湖水源もりの日」…10月1日

⑤大阪府

おおさか「山の日」……11月の第2土曜日

⑥和歌山県

「紀州・山の日」……11月7日

⑦奈良県

「山の日・川の日」……7月の第3月曜日

⑧愛媛県

「えひめ山の日」……11月11日

⑨高知県

「こうち山の日」……11月11日

⑩四国4県

「四国山の日」……11月11日

○民間でも設定しているところがある。

①日本アルパイン・ガイド協会

「登山の日」……10月3日

②鳥海山の会

「鳥海山の日」……5月11日

○群馬県の県会議員のなかには、「山の日」制定に向けた活動を積極的に行なっている議員がいて、すでに平成16(2004)年9月の県議会で国に対して意見書を提出することが議決され、実際に国に提出されたようである。また、長野県からもすでに意見書が提出されているとのこと。

○本支部にも「山の日」制定にむけた活動を担当する会員が前ページのように任命されている。意欲的な活動が期待されるところである。

○祝日は、「祝日法」によって定められているので、最終的には国が決定することになる。

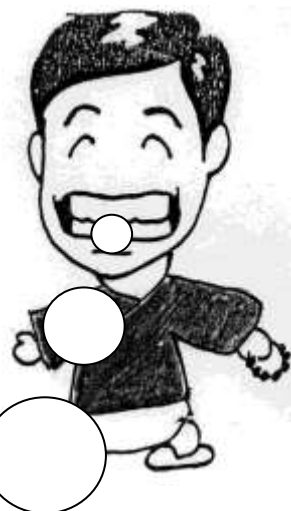
○制定されたら、「モリゾー」と「キッコロ」もきっと喜ぶぞー！！

事務局より

○「ちょっと一服！！」のコーナーはお休みしました。あしからず。

○支部報の作成には、実は本当のところ、小声で言うと、その一、ちょっと苦勞しています。原稿や写真を寄せていただくと大変有り難いのです。個人山行の文・写真、ご自分でこだわって調べること、新しい企画の提案等々、奮ってご提出下さい。みなさんのご協力によって、初めて成り立つ支部報です。よろしくお願いします。

○支部のHPを立ち上げたいと思っています。写真や原稿等をお寄せ下さい。特に県内の山の写真などのページを作りたいと考えています。山そのものの写真、植物・動物の写真、登山風景の写真等ありましたら、データでご提供いただければと思います。あるいは個人山行の文・写真でも結構ですよ。



☆☆☆ あとがき ☆☆☆

- ようやく、やっとのことで、支部報第2号を発行することができました。冷や汗ものでした。会員各位のご批評をいただければ幸いに存じます。
- まだまだ発展途上です。会員の皆様の熱意で、読んで楽しいものに仕上げていきたいと思います。
- また、楽しい企画のご提案、山行等の寄稿があればどしどしお寄せください。(カミジマ)